

女子大学院生
ポスドクのための

産総研 所内紹介 在職女性研究者との懇談会

将来、研究者を目指したい方はもちろん、
“在職の女性研究者の話をかきたい”、“研究現場を見たい”など、
産総研にご興味をお持ちの方は、是非、ご参加下さい。

【日 時】 2017年11月20日（月）～21日（火）

【場 所】 産業技術総合研究所 つくばセンター

つくば中央 共用講堂（茨城県つくば市東1-1-1）

【対 象】 女子大学院生・ポスドク

（学部生の参加も可）

【参加費】 無料（事前申込制・定員80名）

【内 容】 ・産総研の各種制度説明（人事部ほか）

・産総研の研究紹介

・在職女性研究者との懇談会

・ラボ見学ツアー（以下7領域 ツアー詳細は裏面）



産総研てれす



産総研ありす

参加申込締切 11月17日（金）

応募フォームに入力後、イベント事務局

（2017@aist.go.jp）までメール添付で

お申し込みください。

<https://unit.aist.go.jp/diversity/ja/event/171120form.pdf>





応募フォーム


【問合せ】 産総研女性研究者との懇談会イベント事務局 <2017@aist.go.jp>


【主 催】 産業技術総合研究所 総務本部 ダイバーシティ推進室


【ラボ見学ツアー（7コース）】 11月20日(月) 15:00～17:00


A エネルギー・環境

 エネルギー・環境領域では2つの研究グループを見学します。
 化合物薄膜チームでは、結晶格子欠陥の制御技術を用いて化合物薄膜太陽電池の高性能化の研究を行っており、女性研究者のロールモデルにもなっている上川研究員が研究紹介を行います。
 爆発安全研究グループでは、火薬類をはじめとする化学物質の爆発安全に関する安全性評価研究の紹介を行います。爆薬の水中爆発実験デモや、小型打ち上げ花火の実演デモで爆発現象を体験して頂きます。


B 情報・人工工学

 情報・人工工学領域の最新の研究2件をさまざまなデモを交えてご紹介いたします。
 研究紹介1は「音楽理解技術とその応用例」です。最新の研究成果に基づいたさまざまな音楽コンテンツの楽しみ方や創り方をご紹介いたします。
 研究紹介2は「高精度マーカーの開発とその応用例」です。高精度マーカーを用いてロボットを正確に動かす最新の技術などをご紹介いたします。最後に研究紹介1と研究紹介2の夢のコラボをご覧ください。

C 生命科学

 生命科学領域では、昆虫生態およびバイオ計測技術標準化の2つのテーマでラボツアーを行います。前者では、研究対象の昆虫を実際に見学いただきながら、昆虫における社会性の成立・維持機構や、微生物との共生関係に関する研究をご紹介します。後者では、バイオ計測技術の実用化にとって感度やコストとともに重要な、精度管理や再現性の確保のための標準化業務の一端をご紹介します。産総研バイオ研究の現場をぜひご覧ください。

D 材料・化学

 私たちは、「夢の素材で人を巻き込み、グローバルな価値を創る」をキャッチフレーズとして、様々な「夢の素材」を作り出しています。ラボツアーでは、カーボンナノチューブ、病原菌などの即時分析技術、レーザーを用いた粒子合成技術の開発について、グローバルに活躍している女性研究者の実験室を見学します。楽しい材料&化学のツアーへ、ぜひご参加ください！

E エレクトロニクス・製造

 ミニマルファブは、半導体デバイスを1個だけ作れるようにするため、ぎりぎりまでサイズを小さくしたウェハ（ハーフインチ：φ12.5mm）を用いて、「半導体の一個流し」を可能にする生産システムです。人のサイズより小さい装置筐体で、局所クリーンウェハ搬送を実現、これまで半導体製造工場では当たり前であったクリーンルームを不要にした、全く新しい製造プラットフォームを是非ご覧ください。

F 地質調査

 地圏微生物研究グループでは、有機地球化学的手法や微生物学的手法を用いて微生物の分布、多様性、機能、活性を評価し、天然ガス等燃料資源の効率的な開発、地圏の環境保全や利用に資する研究を行っています。地球化学研究グループでは、地殻表層における地球化学情報の集積・活用を目指し、元素分析の基礎となる地球化学標準試料の作製、および元素挙動解明の基礎となる地球化学図の作成を主なミッションとして研究を行っています。

G 計量標準

 私たちが安全に暮らしていくためには、有害成分などの信頼できる分析が必要であり、計量標準総合センターはそのために欠かせない正確な値を持つ標準物質の供給を行っています。私たちはNMRとクロマトグラフィーを組み合わせた分析方法(qNMR/Chromatography)を確立し、これまで開発に時間を要していたために社会ニーズに合わせた供給が困難であった有機標準液の効率よい供給を可能としました。今回の見学では、有機標準物質の供給に関する業務と研究について紹介します。

【研究領域独自プログラム（3コース）】 11月21日(火) 10:00～12:00

- ① 地質標本館見学・薄片作成体験ツアー（先着順、定員制）
- ② エネルギー・環境領域 研究現場の今を知る！
- ③ サイエンス・スクエアつくば ガイド付き見学ツアー

【プログラム】

11月20日（月）

14:00
15:00
17:00

受付開始、産総研の研究紹介（ポスターセッション）
ラボ見学ツアー（上記7コースのうち2コース選択）
交流会

※宿泊希望者には施設案内有り。ご相談ください！

11月21日（火）

10:00

研究領域独自プログラム
 （上記3コースのうち1コース選択）

【在職女性研究者との懇談会】

12:00
13:00
14:00
15:00
17:00

産総研の研究紹介（ポスターセッション）
産総研各種制度説明
 （人事制度、技術研修、RA制度ほか）
女性研究者紹介（パネルディスカッション）
在職女性研究者との懇談会
 閉会



イベント詳細